

08 一宮源流親子探検隊

【日 時】 平成 29 年 7 月 29 日（土）10：30～16：40

【場 所】 木祖村 こだまの森ほか

【内 容】 以下のとおり

「いちのみやリバーサイドフェスティバル」運営協議会（事務局：一宮市公園緑地課）の主催により行われている標記事業が今年も開催され、一宮市内の親子 80 名及び市関係者 4 名が木祖村を訪れました。

当日は天気が思わしくなく朝から小雨が降ったり止んだりとはっきりしない天気でしたが、参加者が到着する頃には雨が上がり 10：30 よりこだまの森において歓迎セレモニーが行われました。

セレモニーでは主催者を代表し運営協議会岩田副会長より主催者あいさつを、続いて開催地である木祖村の唐澤村長と田上議長、木曽広域連合の古幡副管理者より歓迎のあいさつをいただきました。

セレモニー終了後は釣り堀へ移動しイワナのつかみ取りを行いました。2ヶ所の池に約 80 尾のニッコウイワナを放流し、子どもたちは冷たい水の中でも元気いっばいにイワナを追いかけていました。

全てのイワナをつかみ終えた後は、昼食会場にてイワナの塩焼きとバーベキューを楽しんでいただき、食事を終えた家族から順次隣接する農園でブルーベリー狩りを行いました。

参加者の皆さんは短い時間の内にパック一杯にブルーベリーを摘み取っていました。

午後は 2 班に分かれて木曽川源流ふれあい館（味噌川ダム資料館）の見学とダム巡視艇の体験乗船を交互に行いました。当初は午後から降雨が予想されており巡視艇乗船体験が行えるか心配でしたが、問題なく体験を行う事が出来ました。

最後は道の駅「木曽川源流の里きそむら」でお土産等買い物をしていただき、16：40 に一宮市へ向けて出発されました。

今回も例年通りの内容で行われましたが、今年から岩魚（焼き用）の納品業者が変更になった事に伴い、こだまの森のスタッフ間の連携不足により焼き用の岩魚が注文できておらず、急遽夜から源流夏祭りに使用する分と巻き替えてもらうトラブルがありました。

その為、岩魚焼きの開始時間が遅くなってしまい間に合うか不安でしたが、何とか昼食中に全員に配布することが出来ました。

今年は有志のボランティア 2 名（名古屋市、一宮市在住）の参加があり、木祖村スタッフ 2 名（教育長、商工観光課担当者）と広域スタッフ 4 名の総勢 8 名のスタッフで対応しました。トラブルもありましたが、ほぼ予定通りの日程で行う事が出来ました。

岩魚のつかみ取りや巡視艇乗船などの普段からは出来ない体験に、子供達はじめ一宮市民の皆さんに満足していただく事が出来たのではと思います。

◎当日の様子



開会セレモニー



主催者挨拶（岩田副会長）



歓迎挨拶（唐澤村長）



歓迎挨拶（田上議長）



岩魚のつかみ取り①



岩魚のつかみ取り②



巡視艇の乗船体験（ライフジャケット装着）



巡視艇の乗船体験（棧橋より出航）